



平成20年 3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成 20年 1月 31日

上 場 会 社 名 東洋製罐株式会社

上場取引所 東証第一部・大証第一部

コ ー ド 番 号 5901

URL <http://www.toyo-seikan.co.jp>

代 表 者 (役職名)取締役社長 (氏名)三木啓史

問合せ先責任者 (役職名)執行役員総務部長 (氏名)清水泰行

TEL (03) 3508 - 2113

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年 3月期第3四半期の連結業績 (平成 19年 4月 1日 ~ 平成 19年 12月 31日)

(1)連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年 3月期第3四半期	573,706	2.4	21,614	8.1	23,932	12.1	7,187	21.8
19年 3月期第3四半期	560,010	1.9	20,000	57.5	21,357	40.0	9,193	33.8
19年 3月期	728,928	-	17,968	-	18,802	-	4,950	-

	1株当たり 四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
20年 3月期第3四半期	34.91	-
19年 3月期第3四半期	44.40	-
19年 3月期	23.94	-

(2)連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年 3月期第3四半期	900,938	661,493	67.1	2,936.93
19年 3月期第3四半期	930,144	675,161	66.4	2,999.74
19年 3月期	920,949	668,562	66.6	2,977.35

2.平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	746,000	2.3	20,000	11.3	21,000	11.7	5,500	11.1	26.71

3.その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 (社名 Crown Seal Public Co.,Ltd.) 除外 0 社]
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔注〕詳細は、6ページ 定性的情報 財務諸表等】4.その他をご覧ください。〕

参考1.平成20年3月期第3四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1)個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	274,332	2.9	10,337	49.1	15,180	39.7	4,260	29.6
19年3月期第3四半期	266,588	4.9	6,933	116.8	10,863	85.5	6,049	38.9
19年3月期	344,800	-	4,154	-	8,203	-	4,616	-

	1株当たり 四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第3四半期	20.69	-
19年3月期第3四半期	29.20	-
19年3月期	22.32	-

(2)個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	494,831	407,333	82.3	1,978.35
19年3月期第3四半期	510,205	419,104	82.1	2,035.47
19年3月期	510,874	417,762	81.8	2,028.97

参考2.平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	353,000	2.4	8,500	104.6	13,500	64.6	3,000	35.0	14.57

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年11月13日に公表いたしました通期業績予想(連結・個別)は、本資料において修正しております。
- 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と大きく異なる結果となる可能性があります。
 なお、業績予想に関連する事項については、添付資料の6ページ 定性的情報 財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景として引き続き設備投資が増加したことや雇用環境の改善により個人消費が底堅く推移するなど、景気は緩やかな回復基調をたどりましたが、サブプライムローン問題に端を発する米国経済の減速懸念や原油・諸資材の価格高騰の長期化などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは業績の回復を図るべく、生産・販売・研究開発の各分野で業務改革の推進に努めました結果、連結対象会社が増加したことも寄与し、売上高は 5,737 億 6 百万円（前年同期比 2.4%増）となりました。利益面では、営業利益は 216 億 14 百万円（前年同期比 8.1%増）、経常利益は 239 億 32 百万円（前年同期比 12.1%増）、四半期純利益は 71 億 87 百万円（前年同期比 21.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの営業の状況は以下のとおりです。

〔包装容器関連事業〕

売上高は 4,938 億 82 百万円（前年同期比 4.4%増）となり、営業利益は 172 億 89 百万円（前年同期比 16.2%増）となりました。

缶詰用空缶・その他金属製品の製造販売

飲料用空缶の売上高は、前年同期を上回りました。

清涼飲料向けは、主力製品であるコーヒー向けでエンボス缶などのデザイン優位性が新製品の受注につながったことや、炭酸飲料・お茶類向けが伸長したことから増加しました。

一方、アルコール飲料向けは、新ジャンル（ビール風アルコール飲料）向けで新製品の受注があり増加しましたが、ビール・発泡酒・チューハイ等低アルコール飲料向けが低調に推移し減少しました。なお、アルミ缶「a T U L C」につきましては、販売が減少しておりますが、引き続き環境保全性などの高付加価値をアピールし拡販に努力してまいります。

また、海外では、タイの Bangkok Can Manufacturing Co., Ltd. で清涼飲料向けが増加しております。

飲料用以外のメタル容器では、入浴剤向け・コンロ用ボンベ缶や新製品を受注した制汗消臭剤向けのエアゾール缶のほか、みかん缶詰向けが増加しましたが、殺虫剤・ペットフード・パスタソース向けが減少したことなどにより、売上高は前年同期を下回りました。

メタルキャップでは、アルミキャップで海外において需要の拡大が続いているビール向けのマキシキャップの輸出が大きく伸長したほか、清涼飲料向けでシェアアップや新規受注があり増加しました。また、持分法適用関連会社であったタイの Crown Seal Public Co., Ltd. を今期より新たに連結対象会社としたこともあり、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

プラスチック製品の製造販売

飲料用ペットボトルの売上高は、前年同期を上回りました。

500ml を超える大容量ボトルは、健康飲料・コーヒー向けが増加しましたが、お茶類向けがボトル販売からプリフォーム販売への移行により低調に推移し、減少しました。500ml 以下の小容量ボトルは、健康飲料向けが減少しましたが、お茶類・ミネラルウォーター向けなどが伸長したことから増加しました。プリフォーム販売では、大容量・小容量ともにお茶類・ミネラルウォーター向けが増加しました。

一般プラスチックボトルでは、食用油向けが家庭内消費の減少により低迷したほか、防臭消臭剤向けなどが減少しましたが、洗濯用液体洗剤向けが市場拡大により増加したことに加え、たれ類・ソース向けやバリア性を向上させた容器「MultiBLOCK」を使用したマヨネーズ向けなどが増加しました。また、タイの Well Pack Innovation Co., Ltd. において果実向けの受注増やシャンプー・リンス向けで新規受注があったことにより、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックフィルムでは、洗濯用漂白剤向けやH I Vなどの検査薬向けが減少しましたが、市場が伸長している流動食向けで「ジッパー付スパウトパウチ」の新規受注があったほか、洗濯用液体洗剤・米飯・ベビーフード向けなどが増加しました。また、マレーシアの Malaysia Packaging Industry Berhad で衛生用品向けなどが増加したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

プラスチックキャップでは、清涼飲料向けが減少しましたが、飲料用パウチ・牛乳向けなどが増加したことに加え、Crown Seal Public Co., Ltd. を今期より新たに連結対象会社とした影響もあり、売上高は前年同期を上回りました。

その他、コーヒーショップ向けの飲料用プラスチックコップが、シェアアップにより大幅に増加しております。

ガラス製品の製造販売

びん製品では、健康飲料・医薬系ドリンク向けで新規受注があり増加しましたが、酢・ジャムなどの食品向けやウイスキー向けなどが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

ハウスウエア製品では、島田特殊硝子株式会社のハウスウエア事業撤退の影響で、売上高は前年同期を下回りました。

紙製品の製造販売

紙コップ製品では、ファーストフード向けの飲料コップや菓子向けなどが順調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

印刷紙器製品では、ビール・発泡酒向けのジャケットパックなどが減少し、売上高は前年同期を下回りました。

段ボール製品では、ビール向けが新規受注により増加しましたが、洗剤・清涼飲料向けが減少し、売上高は前年同期並となりました。

エアゾール製品・一般充填品の受託製造販売

エアゾール製品では、制汗消臭剤・化粧品・頭髮用品などが大幅に伸長し、売上高は前年同期を大きく上回りました。

一般充填品では、入浴剤が新規受注により増加しましたが、洗剤・頭髮用品が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

〔鋼板関連事業〕

売上高は 458 億 88 百万円(前年同期比 8.2%減)となり、営業利益は 25 億 30 百万円(前年同期比 50.7%増)となりました。

電気・電子用材料の製造販売

電池材はニッケルメッキ鋼板(ニッケルトップ)の拡販に努めた結果好調を維持しましたが、複写機・プリンターなどの事務機・OA機器向けは、海外生産シフトの影響により電気亜鉛メッキ鋼板(シルバートップ)が低調に推移しました。ブラウン管用部材は薄型テレビへの移行が進んだことにより大きく減少し、また、家電向けでは冷蔵庫用の高級化粧鋼板(ピントップ)が他素材と海外競合材の伸長により減少しました。この結果、売上高は前年同期を大きく下回りました。

建材の製造販売

内装向けユニットバス用の高級化粧鋼板は拡販に努めた結果増加し、また、外装向け部材の電気亜鉛メッキ鋼板や高級化粧鋼板は需要がやや減少傾向にあるものの前半の好調により増加し、売上高は前年同期を上回りました。

車両・産機用材料の製造販売

ベアリング用の電気亜鉛メッキ鋼板は在庫調整の影響を受けたものの海外向けで回復が見られ、燃料パイプ用のニッケルメッキ鋼板と車ドア用部材の冷延鋼板（トップ）は需要の増加により好調でした。また、梱包資材用の帯鋼も堅調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

〔その他事業〕

磁気ディスク用基板・硬質合金・光学用機能フィルム・機械器具および塗薬・微量元素肥料・顔料・ゲルコート・農業用資材製品などの製造販売、建材用ガラス製品・石油製品などの販売、損害保険代理業および不動産管理業などにつきましては、売上高は 339 億 35 百万円（前年同期比 7.8%減）となり、営業利益は 20 億 44 百万円（前年同期比 39.2%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は、以下のとおりです。

日本では、売上高は 5,502 億 92 百万円、営業利益は 204 億 33 百万円、アジア（タイ、マレーシア、中国、シンガポールなど）では、売上高は 233 億 85 百万円、営業利益は 10 億 48 百万円、その他（米国）では、売上高は 28 百万円、15 百万円の営業損失となりました。

なお、以下のとおり、今期より新たに 9 社を連結子会社とし、1 社を持分法適用関連会社といたしました。

<1>連結子会社

・増加（9社）

Crown Seal Public Co.,Ltd.
 Kanagata (Thailand) Co.,Ltd.
 東罐（常熟）高科技容器有限公司
 多瑪得（上海）精細化工有限公司
 多瑪得（廈門）精細化工有限公司
 日龍発展有限公司
 太星発展有限公司
 TOMATEC America, Inc.
 First Clarion Enterprise Inc.

<2>持分法適用関連会社

・増加（1社）

Asia Packaging Industries (Vietnam) Co.,Ltd.

・減少（1社）

Crown Seal Public Co.,Ltd.

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、9,009 億 38 百万円となりました。受取手形及び売掛金が増加しましたが、現金及び預金の減少、また、保有有価証券の時価の下落等により、前連結会計年度末に比べ 200 億 11 百万円の減少となりました。

当第 3 四半期末の負債は、2,394 億 44 百万円となりました。社債の償還や支払債務の減少等により、前連結会計年度末に比べ 129 億 43 百万円の減少となりました。なお、有利子負債は、前連結会計年度末に比べ 34 億 29 百万円減少しました。

純資産は、6,614 億 93 百万円となりました。保有有価証券の時価の下落にともなうその他有価証券評価差額金の減少や配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ 70 億 68 百万円の減少となりました。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の 66.6%から 67.1%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 19 年 11 月 13 日に公表いたしました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の連結および個別通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

連結業績予想につきましては、個別業績予想の修正および連結子会社の最近の業績の動向等を踏まえ、売上高を下方修正いたします。利益面におきましては、個別で上方修正をしておりますが、一部連結子会社の業績が前回予想を下回る見込みであることから変更はありません。

個別業績予想につきましては、売上高は前回予想を若干下回る見込みですが、原材料価格の高騰が続くなか業務効率の改善による諸経費の削減や減価償却費の減少などにより、営業利益、経常利益および当期純利益は前回予想を上回る見込みとなりました。

平成 20 年 3 月期の連結業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	748,000	20,000	21,000	5,500	26.71
今回修正予想（B）	746,000	20,000	21,000	5,500	26.71
増減額（B - A）	2,000	0	0	0	0

参考

平成 20 年 3 月期の個別業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	354,000	7,000	12,500	2,500	12.14
今回修正予想（B）	353,000	8,500	13,500	3,000	14.57
増減額（B - A）	1,000	1,500	1,000	500	2.43

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社は、持分法適用関連会社であるタイの Crown Seal Public Co., Ltd. の経営に関する意思決定に主体的に関与していくことを決定したことから、今期より同社を連結子会社としております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.(要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度	増 減
	平成18年12月31日	平成19年12月31日	平成19年3月31日	
	金 額	金 額	金 額	金 額
(資 産 の 部)				
流 動 資 産	452,723	455,178	458,129	2,951
現金及び預金	105,508	106,794	117,371	10,577
受取手形及び売掛金	238,502	242,281	229,616	12,665
有 価 証 券	4,999	2,000	2,000	0
棚 卸 資 産	85,726	87,513	91,448	3,934
繰 延 税 金 資 産	10,452	10,153	9,902	251
そ の 他	10,042	9,242	10,430	1,187
貸 倒 引 当 金	2,508	2,808	2,640	167
固 定 資 産	477,420	445,759	462,820	17,061
有 形 固 定 資 産	274,291	265,004	265,700	695
建 物 及 び 構 築 物	90,890	89,975	91,962	1,986
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	87,862	74,913	83,688	8,775
土 地	72,006	74,125	72,240	1,884
そ の 他	23,531	25,991	17,809	8,182
無 形 固 定 資 産	5,840	5,038	5,305	266
投 資 そ の 他 の 資 産	197,288	175,716	191,814	16,098
投 資 有 価 証 券	162,878	136,265	159,705	23,440
繰 延 税 金 資 産	19,767	25,583	16,712	8,870
そ の 他	16,562	15,737	17,147	1,410
貸 倒 引 当 金	1,919	1,870	1,751	119
資 産 合 計	930,144	900,938	920,949	20,011

科 目	前第3四半期末	当第3四半期末	前連結会計年度	増 減
	平成18年12月31日	平成19年12月31日	平成19年3月31日	
	金 額	金 額	金 額	金 額
(負債の部)				
流動負債	161,973	159,950	169,063	9,113
支払手形及び買掛金	85,728	85,688	90,345	4,656
短期借入金	21,918	23,722	21,995	1,726
未払法人税等	5,224	5,261	3,562	1,699
その他	49,101	45,276	53,159	7,882
固定負債	93,009	79,494	83,324	3,829
社債	5,000	5,000	5,000	-
長期借入金	6,729	3,249	5,405	2,156
繰延税金負債	6,517	3,594	4,592	998
退職給付引当金	64,909	57,943	59,157	1,213
特別修繕引当金	4,688	4,593	4,066	527
ののれん	1,184	372	1,042	669
その他	3,979	4,739	4,058	680
負債合計	254,982	239,444	252,387	12,943
(純資産の部)				
株主資本	559,940	560,259	555,692	4,567
資本金	11,094	11,094	11,094	-
資本剰余金	349	349	349	-
利益剰余金	567,095	567,427	562,852	4,574
自己株式	18,599	18,610	18,604	6
評価・換算差額等	57,708	44,442	57,340	12,898
その他有価証券評価差額金	57,596	43,305	56,776	13,471
繰延ヘッジ損益	2	205	200	4
為替換算調整勘定	114	931	363	5688
少数株主持分	57,512	56,791	55,529	1,261
純資産合計	675,161	661,493	668,562	7,068
負債及び純資産合計	930,144	900,938	920,949	20,011

(2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	前第3四半期	当第3四半期	増 減	前連結会計年度
	自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	自平成19年4月1日 至平成19年12月31日		自平成18年4月1日 至平成19年3月31日
	金 額	金 額	金 額	金 額
売 上 高	560,010	573,706	13,695	728,928
売 上 原 価	478,242	489,941	11,699	628,029
売 上 総 利 益	81,767	83,764	1,996	100,899
販売費及び一般管理費	61,766	62,150	383	82,930
営 業 利 益	20,000	21,614	1,613	17,968
営 業 外 収 益	6,933	7,248	315	9,942
受 取 利 息	399	688	288	663
受 取 配 当 金	1,570	1,744	174	1,904
賃 貸 収 入	1,401	1,511	110	1,864
負ののれん償却額	412	267	145	557
持分法による投資利益	388	-	388	503
そ の 他	2,761	3,036	275	4,449
営 業 外 費 用	5,577	4,931	646	9,108
支 払 利 息	481	389	92	649
賃貸資産管理費用	982	903	79	1,227
固定資産除却損	518	850	332	1,028
持分法による投資損失	-	146	146	-
そ の 他	3,594	2,640	953	6,203
経 常 利 益	21,357	23,932	2,575	18,802
特 別 利 益	6,520	1,605	4,915	10,329
固定資産売却益	5,329	857	4,472	5,382
投資有価証券売却益	679	748	68	1,052
退職給付信託設定益	511	-	511	2,910
退職給付制度変更差額	-	-	-	983
特 別 損 失	8,364	9,107	743	14,865
棚卸資産評価損	1,384	-	1,384	1,388
減 損 損 失	6,979	3,323	3,655	7,621
固定資産臨時償却費	-	5,784	5,784	5,856
税金等調整前第3四半期純利益	19,513	16,429	3,083	* 14,266
法人税、住民税及び事業税	8,915	8,428	487	6,900
法 人 税 等 調 整 額	-	-	-	2,392
少 数 株 主 利 益	1,404	813	590	22
第 3 四 半 期 純 利 益	9,193	7,187	2,006	* 4,950

(注) 1. *はそれぞれ税金等調整前当期純利益・当期純利益となります。

2. 前第3四半期、当第3四半期における税金費用については、簡便法により計算しているため、「法人税、住民税及び事業税」は、法人税等調整額を含めております。

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

前第 3 四半期 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	473,200	49,988	36,821	560,010	-	560,010
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	465	29,632	4,140	34,238	34,238	-
計	473,665	79,621	40,962	594,249	34,238	560,010
営業費用	458,786	77,942	37,598	574,327	34,318	540,009
営業利益	14,878	1,678	3,363	19,921	79	20,000

当第 3 四半期 (自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	493,882	45,888	33,935	573,706	-	573,706
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	423	28,168	3,909	32,502	32,502	-
計	494,306	74,057	37,845	606,208	32,502	573,706
営業費用	477,016	71,526	35,800	584,343	32,251	552,092
営業利益	17,289	2,530	2,044	21,864	250	21,614

前連結会計年度 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 百万円)

	包装容器 関連事業	鋼板関連 事業	その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	615,370	66,341	47,216	728,928	-	728,928
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	628	38,069	5,249	43,946	43,946	-
計	615,998	104,410	52,465	772,874	43,946	728,928
営業費用	603,761	102,710	48,590	755,063	44,103	710,959
営業利益	12,237	1,700	3,874	17,811	156	17,968

(注)1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2. 各事業の主な製品

- (1) 包装容器関連事業 空缶製品、プラスチック製品、ガラス製品、紙製品等
- (2) 鋼板関連事業 鋼板、鋼板加工製品等
- (3) その他事業 糊薬、顔料、磁気ディスク用基板、機械器具、石油製品等

3. 前第 3 四半期、当第 3 四半期及び前連結会計年度における営業費用は全て、各セグメントに配賦している。

b.所在地別セグメント情報

前第 3 四半期(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)

全セグメントの売上高の合計に占める本国の割合が 90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略している。

当第 3 四半期(自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日)

(単位 百万円)

	日 本	ア ジ ア	そ の 他	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	550,292	23,385	28	573,706	-	573,706
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,219	644	-	4,863	4,863	-
計	554,511	24,029	28	578,570	4,863	573,706
営 業 費 用	534,078	22,981	44	557,103	5,011	552,092
営業利益又は営業損失()	20,433	1,048	15	21,466	147	21,614

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
アジア・・・タイ、マレーシア、中国、シンガポール
その他・・・米国

3. 当第 3 四半期における営業費用は全て、各セグメントに配賦している。

前連結会計年度(自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

(単位 百万円)

	日 本	ア ジ ア	計	消去又は 全 社	連 結
売 上 高					
(1) 外部顧客に対する売上高	707,090	21,837	728,928	-	728,928
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,219	78	1,298	1,298	-
計	708,310	21,916	730,227	1,298	728,928
営 業 費 用	692,524	19,712	712,237	1,277	710,959
営 業 利 益	15,785	2,204	17,989	21	17,968

(注)1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
アジア・・・タイ、マレーシア、中国、シンガポール

3. 当連結会計年度における営業費用は全て、各セグメントに配賦している。

c. 海外売上高

前第 3 四半期（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日）

海外売上高が、連結売上高の 10%未満のため、海外売上高の記載を省略している。

当第 3 四半期（自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	41,205	7,324	48,530
連結売上高（百万円）			573,706
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	7.2	1.3	8.5

前連結会計年度（自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日）

	アジア	その他の地域	計
海外売上高（百万円）	50,383	7,056	57,439
連結売上高（百万円）			728,928
連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	6.9	1.0	7.9

（注）1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア ……タイ、中国、韓国、シンガポール

その他の地域 ……米国、ロシア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高である。